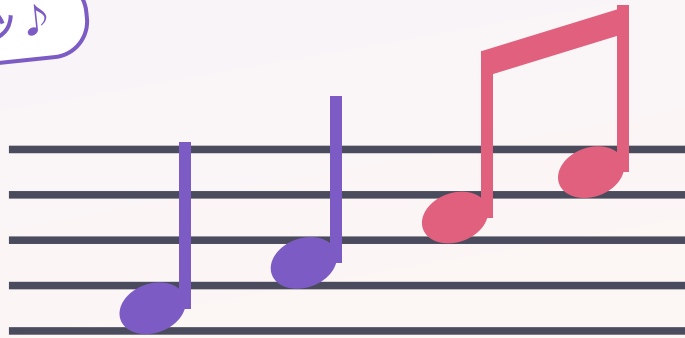


パート ♪



息が音になった！

管楽器

息の力で、音を生み出そう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

管楽器を知ろう	3～17
管楽器を楽しもう	18～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

息を吹きこんで音を出す楽器の、大きな仲間です。



- 息の強さや速さを変えると、音の大きさや高さが変わります。
- 指やバルブで管の長さを変えることで、いろいろな音の高さを出せます。

1. 知っている管楽器を、書けるだけ書いてみよう。

管楽器には、2つの大きなグループがあります。

4

唇のすき間で息をこすり、音を出す楽器です。

flute (フルート)

横にかまえ、吹き口に息を当てて音を出す木管楽器

ポイント

- リード（振動する薄い板）を使わず、息そのものを吹き口のふちに当てて音を出します。
- 澄んだ、なめらかな音色が特ちょうです。

やってみよう

1. フルートの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

1枚のリードをふるわせて、音を出す楽器です。

clarinet (クラリネット)

1枚のリードをふるわせて音を出す木管楽器

ポイント

- マウスピースにはさんだ、1枚の薄いリードが振動して音になります。
- 低い音から高い音まで、幅広い音域を持つ楽器です。

やってみよう

1. クラリネットの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

2枚のリードを合わせてふるわせる楽器です。

oboe (オーボエ)

2枚のリードを合わせてふるわせる木管楽器

ポイント

- 2枚の薄いリードを重ねて、その間に息を通して振動させます。
- オーケストラの音合わせで、基準の音を出す楽器としても知られています。

やってみよう

1. オーボエの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

金属製でも、木管楽器の仲間です。

saxophone (サクソフォン)

1枚のリードで音を出す、金属製の木管楽器

ポイント

- クラリネットと同じ1枚リードのしくみですが、形は金属の管です。
- ジャズや吹奏楽など、幅広いジャンルで活やくしています。

やってみよう

1. サックスの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

金管楽器の中で、もっとも高い音を出す楽器です。

trumpet (トランペット)

3つのバルブ（ピストン）で音の高さを変える金管楽器

- 唇をふるわせて音を出し、バルブを押して管の長さを変えます。
- はなやかで力強い音色が特ちょうです。

1. トランペットの音を、動画や音源で聴いてみよう。

スライドを動かして、音の高さを変える楽器です。

管を前後に動かすスライドで音の高さを変える金管楽器

- バルブではなく、スライドを伸び縮みさせて管の長さを変えます。
- 音の高さをなめらかに変化させる奏法も得意な楽器です。

1. トロンボーンの音を、動画や音源で聴いてみよう。

長い管がぐるぐる巻かれた、まるい形の楽器です。

horn (ホルン)

長い管が丸く巻かれた、やわらかい音色の金管楽器

ポイント

- 管を伸ばすと、数メートルの長さになる楽器です。
- オーケストラでは、やわらかく丸みのある音でよく使われます。

やってみよう

1. ホルンの音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

金管楽器の中でいちばん大きく低い音を出す楽器

- 吹奏楽やオーケストラで、低音を支える役割を受け持ちます。
- 大きな楽器なので、たくさんの息の量が必要です。

1. チューバの音を、動画や音源で聴いてみよう。

木管と金管では、振動させるものがちがいます。

13

おなかから送る息が、安定した音のもとです。

ポイント

- おなかの筋肉を使って息を送ると、音が安定しやすくなります。
- 息が足りなくなると、音が細くなったり、途中で切れたりします。
- 楽な姿勢で立つ・すわることも、息を使いやすくするために大切です。

やってみよう

1. おなかに手を当てて、大きく息を吸ってから、細く長くはいてみよう。

ワンポイント 息苦しさを感じたら、無理をせず一度休みましょう。のどに力を入れすぎないことも大切です。

書いて覚えよう

管楽器と打楽器を中心にした合奏の形です。

管楽器と打楽器を中心にした合奏の形です。

wind band (ウィンドバンド)

管楽器と打楽器を中心に編成された合奏

- 学校の部活動でも、広く親しまれている合奏の形です。
- オーケストラとちがい、弦楽器はほとんど使われません。

1. 吹奏楽の演奏を、動画や音源で聴いてみよう。

吹奏楽の編成

たくさんの管楽器が、パートに分かれています。

パート	楽器の例
木管高音	フルート・クラリネット
木管中低音	オーボエ・サックス
金管高音	トランペット・ホルン
金管低音	トロンボーン・チューバ
打楽器	小太鼓・大太鼓・木琴など

ポイント

- それぞれのパートが役割を分担することで、豊かなハーモニーが生まれます。
- パートの人数は、曲や団体によってさまざまです。

やってみよう

- 吹奏楽の演奏を聴いて、パートの音を聴き分けてみよう。

書いて覚えよう

管楽器の名曲・管楽器の手入れ

名曲を聴くことと、楽器を大切にすることを学ぼう。

管楽器がよく使われる音楽の種類

吹奏楽の曲

行進曲（マーチ）

ジャズ

オーケストラ曲

行進曲では、金管楽器の力強い響きがよく生かされています。

ポイント

- 演奏後は、楽器にたまった水滴をふき取り、リードを外して乾かします。
- 金管楽器は、定期的に内部を洗浄すると、清潔に保てます。

やってみよう

1. 管楽器の名曲を1曲聴いて、感想を書こう。

書いて覚えよう

管楽器を始めるには・管楽器の魅力

はじめの一步と、管楽器の魅力を知ろう。

始めるには

学校の部活動で
吹奏楽部などで習う

教室で
楽器店や音楽教室で体験する

管楽器の魅力

息づかいが
そのまま音の表情になる

仲間と パートで音を重ねる楽しさ

ポイント

- 体験レッスンやレンタル楽器を利用できる教室もあります。
- 自分の息が音になる感覚は、管楽器ならではの魅力です。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ひとりでも、みんなでも音を聴き分けてみよう。

A (トランペットの音の特ちょうを説明する)

B (何の楽器か当てる)

A (別の楽器の音の特ちょうを説明する)

B (何の楽器か当てる)

ポイント

- A が音の特ちょうを言葉で説明し、B が楽器を当てる聴き分けゲームです。
- 音色・音の高さ・はなやかさなど、注目するポイントを意識すると説明しやすくなります。

ワンポイント むずかしいときは、動画や音源を一緒に聴きながら確認しましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきには、共通した原因があります。

つまずき

よくあること

木管と金管を混同する

見た目や材質で判断している

似た楽器の音を聴き分けられない

音色に注目できていない

コツ

こうしてみよう

音の出し方に注目して覚える

リードか唇か

同じ曲を、楽器を変えて聴きくらべる

ちがいに集中して聴く

ポイント

- 何度も聴き比べると、少しずつ音の個性がわかるようになります。
- 1つずつ確実に覚えていくことが、聴き分ける力につながります。

やってみよう

1. 自分が聴き分けにくいと感じる楽器を1つ書こう。 _____
2. その楽器の音を、もう一度集中して聴いてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材でてきた言葉を確認しよう。

木管楽器

☐ フルート

息そのものを振動させる

☐ クラリネット・サクソ

1枚のリード

☐ オーボエ

2枚のリード

金管楽器

☐ トランペット

バルブで音を変える

☐ トロンボーン

スライドで音を変える

☐ ホルン・チューバ

丸い形・低い音

合奏の言葉

☐ 吹奏楽

管楽器と打楽器の合奏

☐ マウスピース

口を当てる部分

体の言葉

☐ アンブシュア

唇の形・使い方

☐ ブレス

楽器に入れる息

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、演奏を聴くのがもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

管楽器の曲を1曲聴く

音色に注目して聴く

木管と金管の音を聴き分ける

吹奏楽の曲を聴く

音楽ノートに気づいたことを書く

家族に好きな管楽器を紹介する

- 1回5分でも、毎日続けることで耳が育っていきます。
- イヤホンで聴くときは、音量を上げすぎないように気をつけましょう。

発表してみよう・感想を書こう

好きな管楽器を、人に伝えてみよう。

楽器名

好きなところ

音の特ちょう

聴いてほしい人

Ken の例

楽器名 トランペット／好きなところ はなやかで力強い音色／音の特ちょう 明るく、まっすぐ響く
／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① この楽器は、～な感じがしました。② とくに、～のところが好きです。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

管楽器の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

演奏会へ

吹奏楽の生演奏を聴きに行く

動画で

息の使い方をじっくり見る

図書館で

管楽器の本をさがす

次のステップ

弦樂器

弓と弦で音を出す楽器を知る

オーケストラ

いろいろな楽器の重なりを聴く

合奏

ほかの楽器と音を合わせる

ポイント

- この教材の次は「身近なもので楽器を作る」。音が出るしくみを、自分の手で確かめていきます。

書いて覚えよう

管楽器チャレンジ

教室の外でも、管楽器はすぐに楽しめます。

見つけよう

管楽器が使われている曲を1曲探す

聴こう

木管楽器と金管楽器を聴き分ける

調べよう

吹奏楽部の活動を調べてみる

こたえ

L26 フルート→イ クラリネット→オ オーボエ→エ トロンボーン
→ア マウスピース→ウ 2. トランペット・トロンボーン・ホル
ン・チューバ など／3. リード

L33 (例) 管楽器は、リードや唇で空気を振動させ、息の使い方
で音の表情を変えられる楽器。

書いて覚えよう

管楽器 (Season 4 | No.38)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷がでま
す。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。